

## エチオピア月報(2018年1月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 3日, 与党 EPRDF 議長のハイレマリアム首相は政治犯の恩赦・釈放及びマエクラウィ監獄の閉鎖に係る決定を発表。
- 15日, ゲタチョー連邦司法長官は, 政治犯釈放の第1弾として, 528名の嫌疑が取り下げられた旨発表。

#### 【治安】

- アムハラ州ウェルディヤにおいて, 祝祭中に治安部隊と参加者に間で衝突があり, 5人が死亡し複数名が負傷。

#### 【外政】

- 22日, ヒルト外務国务大臣は大菅外務省アフリカ部長と会談。
- 22日, 第30回 AU 総会が開幕。
- 27日, ハイレマリアム首相はグテーレス国連事務総長と会談。
- 28日, ハイレマリアム首相及びウォックナー外相は陳暁東中国外交部部長助理と会談。
- 29日, ハイレマリアム首相はバシール・スーダン大統領及びエルシーシ・エジプト大統領と三者会談を実施。

#### 【経済】

- 2日, エチオ・ジブチ鉄道は, 旅客及び貨物の営業運転を開始した。
- (日時不明) エチオピア投資委員会(EIC)によると, 当国の2016/17会計年度の対外直接投資(FDI)は, 41億7000万米ドルとなり, 10年間で5倍の増加を示した。

#### 【内政】

- 3日, 与党 EPRDF 議長のハイレマリアム首相は, 記者会見において, 国民的コンセンサス形成及び民主的空間の拡大のため, 政治犯の恩赦・釈放及びマエクラウィ監獄の閉鎖に係る決定を発表した。(3日, FBC)
- 10日, ティグライ州議会はデブレツィオン氏を州政府の副大統領に選出した。(10日, FBC)
- 15日, ゲタチョー連邦司法長官は, 政治犯釈放の第1弾として, 528名の嫌疑が取り下げられた旨発表。右釈放者のうち115名は連邦レベルで, 残り413名は南部諸民族州で収容されていた者である。右釈放者にはメレラ・グディナ氏も含まれており, 2日間の研修を受けた後に釈放される。(15日, FBC)
- 17日, ムラトゥ大統領はアバイ・ウォルドウ氏及びウォインシェット・タデッセ氏の2名を大使として任命した。ウォインシェット大使は AU 常駐代表に任命された。(17日, FBC)

## 【治安】

- アディスアベバから 510km 北に位置するアムハラ州ウェルディヤにおいて、祝祭中に治安部隊と参加者に間で衝突があり、5人が死亡し複数名が負傷した。州政府報道官は、暴動を引き起こし、無辜な市民の命を奪った責任者を捜索し裁きにかける旨述べた。エチオピア正教会の顕現祭2日目に若者が反政府的な抗議の歌を歌ったことから事件が起きたと見られる。(21日、アフリカニュース)

## 【外政】

- 9日、ヒルト外務国务大臣はオナル・トルコ外務省アフリカ・中東担当副次官と会談。貿易や投資に加え、両国間の戦略的協力の潜在的な分野について協議した。(9日、当地外務省プレスリリース)
- 10日、ヒルト外務国务大臣はリツァーグ・ノルウェー移民・統合大臣と会談し、移民・難民問題におけるより緊密な連携を再確認した。リツァーグ大臣は、エチオピアの南スーダン和平プロセスにおける役割に留意しつつ、近隣国からの多数の難民受入れを賞賛するとともに、違法移民対策の取組の功績を認めた。ヒルト国务大臣は、移民が国際社会のアジェンダになっているとした上で、根本原因に対処することが重要との認識を示した。(10日、当地外務省プレスリリース)
- 16日、ヒルト外務国务大臣はシレ・ソマリランド外務大臣と会談。シレ外相は、アフリカの角地域の平和と安定に向けた取組に貢献する意思を表明し、また、エチオピアとの間の貿易やインフラを通じた関係強化を求めた。ヒルト国务大臣は、エチオピアがソマリランドの開発の取組を支持している旨強調した。(16日、当地外務省プレスリリース)
- 17日、ハイレマリウム首相はアブディ・ソマリランド大統領と会談。両者は、平和と安全保障、経済、貿易及び教育分野における協力について強化する方策を協議した。ハイレマリウム首相は、バルバラ港を利用したソマリランドとの経済統合強化に向け、同港へのアクセス開発に然るべき配慮がなされる旨述べたほか、アル・シャバーブとの戦いにおける支援の提供にも言及した。(17日、ワルタニュース)
- 22日、ヒルト外務国务大臣は大菅外務省アフリカ部長と会談。ヒルト国务大臣は、日本からの開発援助を賞賛し、二国間関係を更に強化する必要性を強調したほか、南スーダン和平プロセスへの日本による貢献に言及した。大菅部長は、エチオピアの地域における平和と安定の確保に向けた役割や国内の経済発展の成功を賞賛し、ODA等を通じた引き続きの支援提供を述べた。
- 22日、第30回AU総会が第35回常駐代表委員会の開幕をもって始まった。今回の会合の主題は「汚職との戦いに勝利する：アフリカの変革のための持続可能な道」であり、ファキAUC委員長は、本件について採択された決定の履行に向けてAUCはいかなる支援も惜しまない旨述べた。(22日、当地外務省プレスリリース)
- 24日、ウォックナー外相はソーライデ・ノルウェー外相と会談。経済開発やノルウェーによる

教育・医療・移民・平和と安全保障といった分野における技術・学術支援について協議し、ソーライデ外相は南スーダンの紛争当事者間に平和と秩序をもたらすためのエチオピアの取組を賞賛した。両者は、ノルウェーからの投資を促すための開発協力についても議論した。(24日、当地外務省プレスリリース)

- 27日、ハイレマリアム首相はグテーレス国連事務総長と会談。両者は南スーダン及びソマリアの治安情勢に注意を払いつつ、アフリカの角の平和と安全保障を強化するための方策を議論した。(27日、当地外務省プレスリリース)
- 28日、ハイレマリアム首相及びウォックナー外相は陳暁東中国外交部部長助理と会談。ハイレマリアム首相は、南スーダンにおける持続的な平和と安定を模索する取組における役割やIGAD ハイレベル再活性化フォーラムへのコミットメント等の地域の平和と安全保障における中国の建設的な役割を評価したほか、貿易、投資、観光、農業変革といった分野におけるエチオピアの取組強化の決意を強調するとともに、エチオピア・ジブチ鉄道の開業に謝意を示した。陳部長助理は、国内投資家のエチオピアへの誘致を約するとともに、支援提供についても保証した。(28日、当地外務省プレスリリース)
- 28日、ウォックナー外相はムライヒー・カタール外務国務大臣と会談。ムライヒー国務大臣は、アル・シャバーブ等のテロ組織の活動によって苦しみ続けているソマリア等の国の人々にとっての安全な避難場所を設立するべく、エチオピアと緊密に連携していきたい旨述べ、ウォックナー外相は両国間で締結された10以上の二国間合意の履行を加速させる必要性を強調した。(28日、当地外務省プレスリリース)
- 29日、アクリル外務国務大臣はアーシム・モルディブ外相と会談。アクリル国務大臣は二国間関係強化に向けた動きを歓迎しつつ、観光や漁業といった分野におけるモルディブからの教訓に学びたい旨述べるとともに、気候変動への対処について連携する意思を示した。(29日、当地外務省プレスリリース)
- 29日、ハイレマリアム首相はバシール・スーダン大統領及びエルシーシ・エジプト大統領と三者会談を実施。三者はグランド・エチオピアン・ルネッサンス・ダムに関する取組の重要な一里塚として原則宣言を再確認し、委員会を設立して同ダムに関する問題を議論することに合意した。また、インフラ基金を設立して等しく貢献することに合意した。(29日、当地外務省プレスリリース)
- 29日、ウォックナー外相はフェルトマン国連事務次長と会談。ウォックナー外相は世界中のエチオピアの平和維持ミッションに対する国連の支援に謝意を表明し、フェルトマン事務次長は様々な平和維持活動や地域と国際場裏における建設的役割を通じた平和と安定の維持に向けたコミットメントを賞賛した。(29日、当地外務省プレスリリース)
- 30日、ウォックナー外相はラクロワ国連PKO局長と会談。ラクロワPKO局長は、世界平和確保に向けたエチオピアの断固たるコミットメントを賞賛しつつ、更なるエチオピアの平和維持部隊の増派を要請した。ウォックナー外相は、ソマリアにおける治安構造の強化の必要性を強調し、南スーダンにおける恒久的平和にむけたIGADの取組と決意を述べた。(30日、当

【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- (日時不明) 中央統計局(CSA)によると、エチオピアの12月のインフレ率は、前月と変わらず前年同月比13.6%となった。また、前年と比べて主要穀物の価格は米を除いて下落している。(8日, The Daily Monitor)
- (日時不明) 英国 Price Water House Coopers(PwC)が公表した Global Economy Watch において、エチオピアは今年、購買力平価(PPP)の点で中国よりも速く成長する17の経済圏の一つと評価された。他の国にはインド、ガーナ、フィリピンが含まれている。また、2018年に最も急速に成長している10カ国のうちアフリカから8カ国入る可能性があるかと付け加えた。(7日, Capital)
- (日時不明) エチオピア農業労務公社の関係者は、来るべき雨期に必要な肥料を購入ための外貨を割り当てるよう、国会に要請した。同社は雨期に150万トン以上の肥料を調達する計画を立てている。(9日, The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピア国立銀行(NBE)は、再び通貨を切り下げる噂の否定を余儀なくされている。同行は、輸出を後押しするとの目的で昨年に10月、1米ドル当たり23.4177ブルから26.9215ブルに切り下げた。それから2ヶ月経った今は、1米ドル当たり27.209ブル付近と若干のブル安で推移している。その状況に対して、同行は大幅な切り下げは行わないと説明に追われている。(11日, The Daily Monitor)
- (日時不明) 世界銀行は、2018年のエチオピア経済が8.2%成長し、アフリカで最も急成長する国となると予測しているが、2019/20年会計年度は、7.8%へ縮小し、成長ペースを続けることができない可能性があるかと予測している。同行が発表した世界経済見通しによると、エチオピアは急成長する経済を維持できる可能性が高いが、政府債務を安定させる措置を講じると成長は緩やかになると予想している。(11日, The Daily Monitor)
- (日時不明) アラブ首長国連邦(UAE)を4日間にわたり訪問したウォックナー外務大臣が率いる代表団は、同国国務省高官と会談し、両国の金融協力の促進について議論した。(12日, The Ethiopian Herald)
- 9日、エチオピア開発銀行(DBE)は、天水栽培式大型商業農業に参入する新規顧客向け融資を中断した。これはガンベラ州の農業投資家に融資された貸付金が適切に使われていないことが明らかになったことに起因している。なお、同行による商業農業向け融資の中断決定は初めてではない。(13日, The Reporter)
- (日時不明) 国際通貨基金(IMF)は、エチオピアの国内債務は対外債務が上昇する一方で減少すると予測している。第4条協議の報告書では、対外債務が過去数年間よりも高い割合で増加したことを示しており、今会計年度に国内債務は減少すると見通している一方、対外債務残高の対GDP比は33.1%と述べている。これは、2016/17年度と比較して2%の増加

となる。(21日, The Reporter)

## 2. 貿易・投資・ビジネス

- (日時不明) エチオピア投資委員会(EIC)によると, 当国の対外直接投資(FDI)は, 10年間で5倍の増加を示した。2007/2008会計年度のFDI総額は8億1460万米ドルであったが, 2016/17会計年度では41億7000万米ドルに増加した。(2日, The Daily Monitor)
- (日時不明) ナイジェリアの多国籍企業ダンゴテ・グループのアリコ CEO は, ハイレマリアム首相と会談し, エチオピアへの投資を2倍に増やす計画を発表した。また, 同氏はエチオピアへの同社の投資拡大の方法に焦点を当てていると語った。(6日, The Ethiopian Herald)
- (日時不明) ティグライ復興基金(EFFORT)の子会社 Messebo Cement PLC は, シンガポールの大企業 KUSTO Group 及び米国 Fairfax Africa Fund と7,000万米ドルの投資契約を締結し, 建設資材を製造するコンソーシアム企業 MKF Building Materials Production PLC を設立した。(6日, The Reporter)
- (日時不明) イスラエル企業 GIGAWATT GLOBAL は, 再生可能エネルギーと人材育成のため, エチオピアに5億ドルを投資すると発表した。Josef I. Abramowitz 同社 CEO は, ハイレマリアム首相とイスラエル企業団との面会において同計画を発表した。太陽光と風力の投資に関心のある同社は, エチオピアの10の大学と協力する予定である。(8日, The Daily Monitor)
- (日時不明) イスラエル企業 GIGAWATT GLOBAL は, 再生可能エネルギーと人材育成のため, エチオピアに5億ドルを投資すると発表した。Josef I. Abramowitz 同社 CEO は, ハイレマリアム首相とイスラエル企業団との面会において同計画を発表した。太陽光と風力の投資に関心のある同社は, エチオピアの10の大学と協力する予定である。(8日, The Daily Monitor)
- (日時不明) トルコの鉄鋼会社 Tosyali Holding は, 70年以上の経験を生かしてエチオピア鉄鋼業界への参入を計画している。エチオピアを訪問した Fuat Tosyahi 同社会長は, エチオピアは著しい経済成長を遂げており, 鉄鋼分野で大きな可能性を秘めていると語った。同社は, 20億米ドルを超えるアルジェリアへの投資を行っている。エチオピアにおいても鉄鋼輸入の代替を目指して大規模な投資を目指す。(10日, The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 英国 Intrade Co. UK Ltd. のオフショア会社であるスーダンの Mahgoub Sons Group は, エチオピア投資委員会(EIC)と3つの異なるプロジェクトに2億米ドルを投資する契約を締結した。同社はメケレ工業団地に1億米ドルをかけて織物・紡績工場を, ボレレミ工業団地に7000万米ドルをかけて製薬工場を建設する。また同社は, 農業加工事業にも投資を検討している。(13日, The Reporter)
- (日時不明) 貿易省によると, 今会計年度最初の5カ月間の油糧種子輸出額は, 昨年同期比より31.72%高い1億4,388万米ドルとなり, 当初計画からも11.2%上回った。輸出量は12万8千トン以上となり, 昨年度の輸出量より27.92%高い。(17日, The Daily Monitor)

- (日時不明) 政府が保有する国営タバコ公社の株式を日本タバコ・インターナショナルに譲渡してから2週間経ち、同社は新CEOとしてGrant Mowat氏を任命した。また、同社で長年のCEOを務めたGizachew Hagos氏は、新CEO着任数日前に辞任している。(20日, The Reporter)
- (日時不明) Ethiopian Coffee, Tea and Spices Marketing and Development Authorityによると、今会計年度上半期のコーヒー輸出額はわずか3億8200万米ドルに減少した。昨会計年度は8億8,200万米ドルと記録的な輸出額を計上したが、世界市場での商品価格の低迷と並行して、この6ヶ月間の輸出実績は低下傾向を示している。(20日, The Reporter)
- (日時不明) 国営タバコ公社(NTE)の民営化に関する法的問題が発生している。数週間前、公共企業省(MoPE)はNTEの政府保有株式を4億3,400万米ドルで日本タバコインターナショナル(JTI)に売却することで合意したが、ある専門家は独占禁止法に抵触する可能性があるとして主張している。(21日, Capital)
- (日時不明) Meta Abo Breweryとかつての再販業者であるEvery Block Distributors Plcが係争中の裁判に関連して、連邦最高裁判所は、Meta社の銀行口座3,300万ブルを凍結するよう、商業銀行12行に対して命令を出した。Every Block社は、2012年以来Meta社製品の主要代理店であり、同社弁護士によると、Meta社との間で年間25万箱以上のビールを供給し、5%の報酬を受けることを合意していたが、Meta社は最初の年の支払いのみを行い、その後契約が解除されるまで3年間報酬支払いを延滞させていると主張している。Meta社は、2010年1月に英国に拠点を置くDiageo Plcによって政府から買収されている。(21日, Fortune)
- 17日、グランドエチオピアルネサンスダム(GERD)の問題で、エジプトとエチオピアは、共同投資技術委員会設立合意に至るまで両国の関係を回復させた。ハイレマリアム首相のエジプト訪問に同行したフィツムエチオピア投資委員会(EIC)長官は、サハル・エジプト投資・経済協力大臣と覚書(MOU)に署名した。(21日, Fortune)
- (日時不明) 歳入関税庁(ERCA)は昨年、中国及びUAEの企業によって作成された偽請求書を摘発することにより、340億ブル(当時の為替レートで16億米ドル以上)の輸入税収入を確保した。ERCA関係者によると、これらの偽造請求書を見逃した場合、昨年度の輸入税収入は半減していた。(26日, The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピア投資委員会(EIC)によると、外国投資家により過去2年間にエチオピア市民45,000人以上の雇用を創出しており、外国投資の誘致は、同国の失業問題に取り組む最良のメカニズムの1つである。(27日, The Ethiopian Herald)
- (日時不明) エチオピア投資委員会(EIC)によると、2016/17会計年度に、外国企業252社が23億ブル以上をエチオピアに投資しており、このうち150社が準備段階にあり、残りが営業を開始している。(28日, The Ethiopian Herald)
- (日時不明) エチオピア投資委員会(EIC)によると、アフリカにおけるトルコの最大の投資先はエチオピアであり、トルコがアフリカに直接投資した60億米ドルのうち、25億米ドル以上が

エチオピアに投資されている。(31日, The Ethiopian Herald)

### 3. エネルギー

- (日時不明) エチオピア電力公社(EEP)は、ゲネレダワ III 水力発電プロジェクトの発電設備工事が完了したと発表した。同プロジェクトは現在 94%完了している。(5日, The Daily Monitor)
- (日時不明) デンマーク政府系金融の Danida Business Finance は初めて、発電能力 100MW のアゼラ風力発電所に 2 億米ドル近くの資金を提供する。同社は財務・経済協力省の融資申請許可を得ており、水・灌漑・電力省によると両国は既に合意に署名している。(7日, Fortune)
- 7日、香港に拠点を置く Lucky Chain Limited Company は、エチオピアにおける再生可能エネルギー開発への約 20 億米ドルの投資に興味を示している。Chang Tat Joel 同社会長は、ハイレマリアム首相との会談において、エチオピアは同社の大陸における主要な市場の一つであると語った。(7日, Capital)
- (日時不明) 米国投資会社である Fairfax Africa Fund は、アジア諸国の複数のパートナーと協力して、総投資額 40 億米ドルの石油精製所をエチオピアに建設する計画を立てている。Zemedeneh Negatu 同社グローバル会長は、本紙に同社が既にフィージビリティスタディを実施していると語った。(13日, The Reporter)
- (日時不明) 鉱山・石油・天然ガス省と中国 POLY-GCL 社は、オガデンからジブチへの天然ガスパイプライン建設に関する合意を締結した。同社は、2013 年からオガデン盆地で石油と天然ガスの探掘を行っており、5-6 兆立方フィートの天然ガスが発見されている。同省によると、同社はハイレマリアム首相とどのようにして天然ガスをジブチに輸送し、次に中国に輸送できるかについて議論を行っている。(21日, Capital)

### 4. 工業・運輸

- (日時不明) 国営砂糖公社は、Omo Kuraz-II 製糖工場が 7 ヶ月間の試験操業を完了し、本格操業を開始したと発表した。同工場は 1 日当たり 12,000 トンのサトウキビ処理能力があるが、当面は 6,500 トンを処理する。また、同工場はサトウキビの絞りかすから 60MW の電力を生産し、そのうち 40MW を国営送電網に供給する。(2日, The Daily Monitor)
- 2日、エチオ・ジブチ鉄道は、旅客及び貨物の営業運転を開始した。また、旅客及び貨物運賃が発表され、旅客運賃は 1 キロメートル当たり 0.68 ブル、貨物運賃は 1 トン・1 キロメートル当たり 1.14 ブルと設定された。(2日, The Daily Monitor) (3日, The Daily Monitor)
- (日時不明) ザンビア政府は、エチオピア航空と新型航空会社設立のため 3 千万米ドルの契約を締結した。同社は 2018 年 10 月より運行を開始する予定。(3日, The Daily Monitor)
- 2日、スーダンのオマル・バシャーラ大統領は、スーダンとエチオピア及び南スーダンを結ぶ鉄道網を建設する計画を発表した。同大統領は、首都ハルツームとワッド・マダニ市につな

ぐ新しい鉄道路線の完成式で「スーダンの鉄道網をエチオピアにつなぐ」と構想を述べた。(4日, The Daily Monitor)

- (日時不明) エチオピア航空グループは、ボレ国際空港拡張工事の進捗について、土木工事が完了し、今年末に完成する見通しを発表した。同プロジェクトは、過去3年間に3億5千万米ドルを費やしている。(9日, The Daily Monitor)
- 8日、ロンドンを本拠地とする Intrade Co UK Ltd.は、ティグライ州のメケレ工業団地に繊維・アパレル工場を設立するため、エチオピア投資委員会(EIC)と覚書(MoU)を締結した。(9日, The Daily Monitor)
- (日時不明) エチオピア鉄道公社(ERC)は、ライトレール輸送システムの運用構築・管理に関する中国からの支援契約を終了し、アディスアベバ軽量電軌会社(AALRT)に引き継ぐ準備を進めている。ERCは、数週間のうちに同輸送システムの管理を完全に自社運営化する準備を完了していると人民代表議会の企業問題常任委員会(HPR)で報告した。(13日, The Reporter)
- (日時不明) 工業省によると、中国の製造業者 Transahian が政府から提供された2万5千ヘクタールの土地でICTパークの整備を進めている。(14日, The Ethiopian Herald)
- (日時不明) エチオピア航空は、ザンビア政府と提携し、ザンビア国営航空会社の再開と、南部アフリカの航空拠点を拠点を拠えたルサカの開発を計画している。新会社は、ザンビア政府が株式の55%を保有し、エチオピア側が45%を保有する株主間協定を既に確立している。(17日, The Daily Monitor)
- (日時不明) 中国最大繊維メーカーの Wuxi No.1 Cotton Textile は、ディレダワ工業団地で繊維工場の着工式を行った。同社は、2億2000万米ドルを掛けて40ヘクタールの土地に工場を建設し、2019年後半に生産を開始する予定であり、完全に稼働すると3000人の雇用を創出する。(17日, The Daily Monitor)
- (日時不明) ディレダワ市郊外で、約6,960万米ドルを掛けて新しいドライポートが建設されている。現在のドライポートは、エチオピア鉄道公社から1ヘクタール未満の土地を借りて運営している。(19日, The Ethiopian Herald)

## 5. その他

- (日時不明) エチオピアは、今会計年度上半期にアメリカ、中国、ドイツ及びアフリカ諸国から約485,800人の観光客を受け入れ、約20億米ドルの収入を得た。(10日, The Daily Monitor)
- (日時不明) 環境・森林・気候変動省によると、エチオピアは今後2年間でビニール袋の使用を全面的に禁止すると発表した。(16日, The Ethiopian Herald)(日時不明)
- (日時不明) エチオピア中央統計局(CSA)は、第4回国勢調査実施の日程を未だ確定できていない。同調査は当初2017年11月19日実施予定だったが、治安状況の悪化により今年2月への延期を余儀なくされている。(18日, The Daily Monitor)



- (日時不明) 保健省が昨会計年度に実施された調査では、アディスアベバの大気汚染レベルが世界保健機関(WHO)の基準値を超えていることが確認されており、大気汚染のために治療を求める患者数が増えている。同省によると、保健医療機関で治療を受けた患者のうち 819,900 人(27.2%)が呼吸器疾患の患者であった。(18 日, The Daily Monitor)
- (日時不明) アディスアベバ市文化観光局は、過去 6 ヶ月間に 41 万 7,793 人の観光客が同市内の観光スポットを訪れたと発表した。(19 日, The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 国際協力事業団(JICA)は、南部諸民族州に建設支援した小中学校の引渡しを行った。山田 JICA エチオピア事務所長によると、同州の 4 市 6 町で中学校 10 校の新設と小学校 11 校の改修に総額 2 億 1,600 万ブルの無償資金援助を行っており、2 万人の学生の教育環境改善が期待される。(21 日, Capital)(27 日, The Ethiopian Herald)